

BLACKROCK®

# ブラックロック i インカム

追加型投信／内外／債券

※ブラックロック i インカムとは、ブラックロックブランドのETFであるiシェアーズを通じて世界の債券に投資し魅力的な*インカム*を追求するとの狙いを由来とする当ファンドの名称です



■当ファンドには元本欠損のおそれがあります。詳しくは、「投資リスク」をご覧ください。

## 【三菱東京UFJ銀行からのご留意事項】

◎当ファンドは預金ではなく、三菱東京UFJ銀行は元本を保証しておりません。また、預金保険制度の対象ではありません。  
 ◎投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、価格変動リスク等があり、お受取金額が投資元金を大きく下回ることがあります。したがって投資元金および運用成果が保証されているものではありません。◎ご購入に際しては、購入時手数料(ご購入代金に応じて上限1.08%(税込))および保有期間中の運用管理費用(信託報酬)等の費用がかかります。◎ご購入に際しては、必ず最新の「投資信託説明書(交付目論見書)」および「目論見書補完書面」により商品内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。◎当ファンドをお取引いただくか否かが、三菱東京UFJ銀行におけるお客さまのほかの取引に影響を与えることはありません。◎当ファンドの購入代金に充当するための借入れを前提とした購入申込みはお受けできません。

## 【金融商品仲介口座を通じてご購入について】

当ファンドは三菱東京UFJ銀行の投資信託口座のほかに金融商品仲介口座(三菱UFJモルガン・スタンレー証券の証券取引口座)を通じてお取扱いをしております。金融商品仲介口座を通じてご購入に際しては、あらかじめ三菱UFJモルガン・スタンレー証券の証券取引口座の開設が必要です(金融商品仲介口座の開設をお申込みいただくと、お取引口座は三菱UFJモルガン・スタンレー証券に開設されます)。

■「投資信託説明書(交付目論見書)」および「目論見書補完書面」は三菱東京UFJ銀行の本・支店までご請求ください。

### 投資信託口座を通じてお取扱いの場合

お申込み/販売会社は



三菱東京UFJ銀行

株式会社三菱東京UFJ銀行  
 登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号  
 加入協会: 日本証券業協会  
 一般社団法人金融先物取引業協会  
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

当行の苦情処理措置および紛争解決措置は  
 一般社団法人全国銀行協会または特定非営利活動法人  
 証券・金融商品あっせん相談センターを利用します。

全国銀行協会相談室: 0570-017109 / 03-5252-3772  
 証券・金融商品あっせん相談センター: 0120-64-5005  
 受付時間: 月~金曜日 / 9:00~17:00(祝日・12/31~1/3等を除く)

### 金融商品仲介口座を通じてお取扱いの場合

お問合せ/ご照会先



三菱東京UFJ銀行

株式会社三菱東京UFJ銀行  
 登録金融機関 関東財務局長(登金)第5号  
 加入協会: 日本証券業協会  
 一般社団法人金融先物取引業協会  
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

委託金融商品取引業者/販売会社は

三菱UFJモルガン・スタンレー証券

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第2336号  
 加入協会: 日本証券業協会  
 一般社団法人日本投資顧問業協会  
 一般社団法人金融先物取引業協会  
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用は

ブラックロック・ジャパン株式会社

ブラックロック・ジャパン株式会社  
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第375号  
 加入協会: 一般社団法人投資信託協会  
 一般社団法人日本投資顧問業協会  
 日本証券業協会  
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ホームページ: <https://www.blackrock.com/jp/>

# ブラックロック i インカム

世界最大<sup>\*1</sup>の資産運用会社 ブラックロックが  
円ベース(運用コスト控除後)<sup>\*2</sup>の魅力的なインカムを求め  
ETF(上場投資信託)を通じて  
世界中のさまざまな債券に機動的に投資します。

## 当ファンドの目的

この投資信託は、円ベースでの安定的なインカム収益の獲得と中長期的な信託財産の成長を目標に運用を行います。

## 当ファンドの特色

1

主として、先進国(日本を含む)および新興国の様々な公社債(ハイイールド債を含む)に投資し、円ベース(運用コスト控除後)で高位のインカム獲得を目指します。

2

公社債への投資は、原則、ブラックロック・グループが運用する上場投資信託(以下「ETF」といいます。)を通じて行います。

3

実質外貨建資産については、為替ヘッジにより為替変動リスクの低減を図ることを基本とします。

4

ETF等への投資にかかる運用の指図に関する権限の一部をブラックロック・グループの各拠点に委託します。

## 当ファンドのポイント

I

### 円ベース(運用コスト控除後)での魅力的なインカムの追求

ETFを通じて世界中のさまざまな債券に機動的に投資を行い、円ヘッジ後・運用コスト控除後の魅力的な利回りを追求します。

II

### 債券ETFの活用により運用コストを抑制

債券への投資は、主としてブラックロックのブランドであるiシェアーズETFのうち、債券iシェアーズETFを通じて行い、信託報酬も相対的に低く抑えることで低コストでの運用を目指します。

III

### 機動的な資産配分で安定性も追求

債券投資における主なリスクである金利変動リスク、信用リスク等の管理を行いつつ、様々な景気局面、金利環境に応じて、投資する債券の種類・投資比率を機動的に変更します。

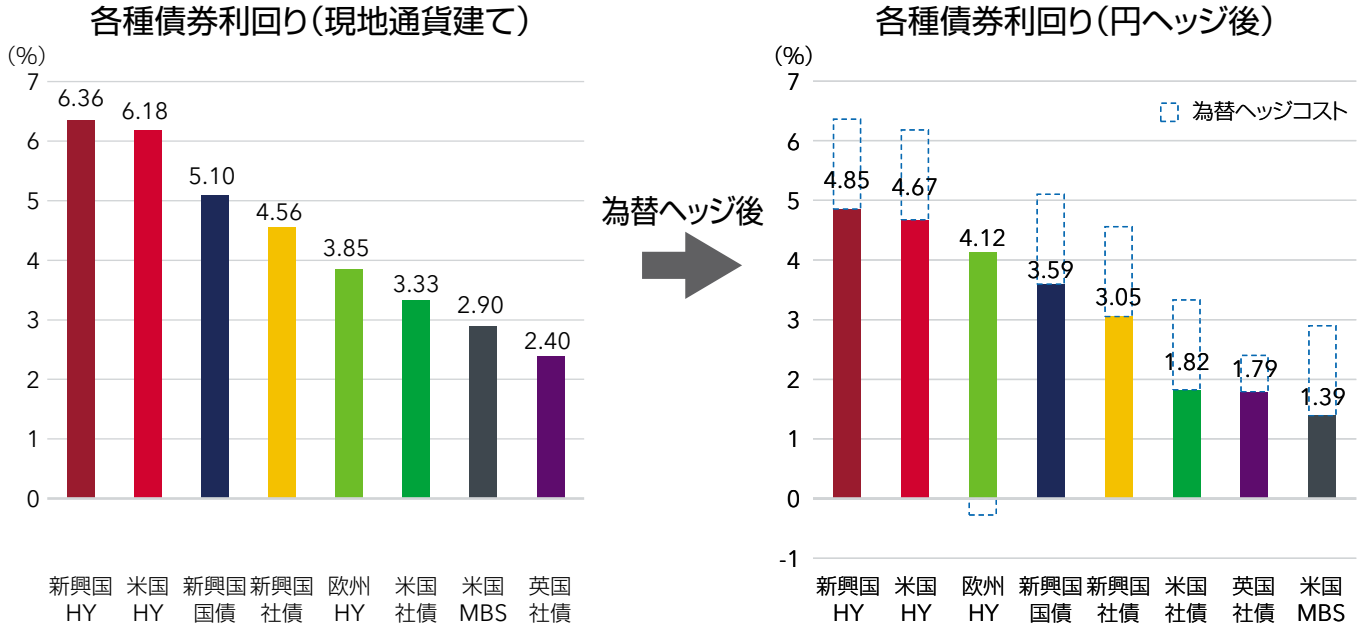
<sup>\*1</sup> 6ページ「ブラックロックについて」をご参照ください。

<sup>\*2</sup> 当資料中、為替ヘッジにより為替変動リスクを低減し、ヘッジコストを控除したものを「円ベース」と表現します。さらに、当ファンドに組み入れたETFの運用管理費用と信託報酬をあわせたものを運用コストとし、円ベースで運用コストを控除したものを「円ベース(運用コスト控除後)」と表現します。

# 円ベース(運用コスト控除後)での魅力的なインカムの追求

## 世界の様々な債券に投資し円ベースでのインカムを獲得

■ 先進国国債では、魅力的な利回り(インカム)の確保が厳しい状況が続いていますが、世界の様々な債券に目を向けると、相対的に魅力的な利回りを持つ債券も存在します。



2017年3月末時点 出所：ブラックロック、Bloomberg Barclays

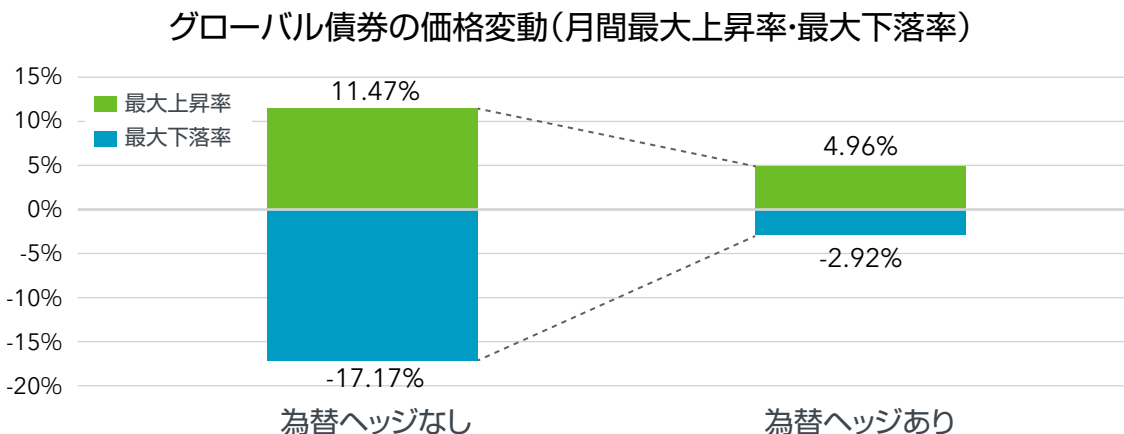
各種債券の利回りはBloomberg Barclaysのインデックス。各インデックスの詳細は6ページをご参照ください。上記は当ファンドに対するご理解を深めて頂くための参考情報であり、上記の債券を必ずしも当ファンドに組み入れるとは限りません。上記の利回りを保証・約束するものではありません。

債券の利回り・ヘッジコストは変化します。このため円ベースの利回りは随時変化(上昇・低下)します。

## 安定したリターンの確保には為替ヘッジの活用が有効

■ 海外の債券に投資する際には、債券自体の価格変動よりも、為替変動の方がパフォーマンスへの影響が大きいことに留意が必要です。

■ 為替変動の影響を抑える場合には、為替ヘッジを行うことが有効です(為替ヘッジにはヘッジコストがかかります)。

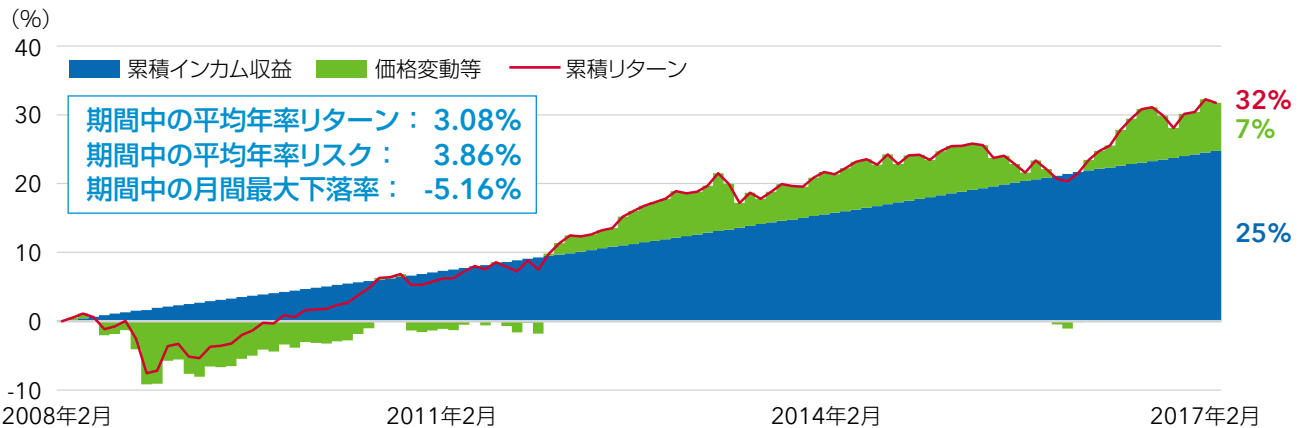


2007年4月～2017年3月(月次) 出所：Bloomberg Barclays

Bloomberg Barclays Global Aggregate Index の当該期間の月次リターンを基に、月間の最大上昇率・最大下落率を示したものです。価格変動はインデックスに対する値であり当ファンドの実績とは異なります。実際にはインデックスに投資することはできません。将来の投資成果を保証・約束するものではありません。

# 運用戦略の累積リターンおよび要因分解の試算(円ヘッジ後・運用コスト控除後)

- 運用戦略の投資成果は、主にインカム収入と債券価格(または組入れる債券ETFの価格)の要因に分解されます。
- 累積リターン(赤折れ線グラフ)の試算をみると、短期的には債券価格の変動(黄緑面グラフ)による上ぶれ、下ぶれが見られるものの、中長期的にはインカム収入(青面グラフ)の積み上げによって底固い動きとなりました。



## <シミュレーションにおけるご留意事項等>

- ・ 上記はシミュレーションであり、当ファンドの将来の運用成果等を予測あるいは保証するものではありません。
- ・ 上記の運用パフォーマンス・イメージのグラフは、過去のデータに基づいて当ファンドの運用指図の委託先であるブラックロック・インスティテューショナル・トラスト・カンパニー、エヌ.エイ.が算出したシミュレーション結果(当該期間2008年2月から2017年3月)を用いてブラックロック・ジャパンが作成したものです。当該期間にどのようなパフォーマンスを示したかを試算するもので当ファンドの運用実績ではありません。
- ・ シミュレーションのパフォーマンス情報は、仮定に基づくもので、情報提供のみを目的としています。また、上記に示したシミュレーションの結果は、仮定に応じて大きく変わります。
- ・ シミュレーションのパフォーマンスは、当該期間において当ファンドが存在していなかったことから、実際のパフォーマンスを示すものではないことにご留意ください。また、過去のパフォーマンスは将来の運用成果を示唆・保証するものではないため、実際の運用において同様のリターンが得られるとも限りません。
- ・ 上記内容は下記の「シミュレーション前提条件」に記載の各条件に基づき試算されたもので、実際の運用においてすべての条件を常に満たすことを保証するものではありません。
- ・ 上記内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更することがあります。

## 【シミュレーション前提条件】

※シミュレーションに際しては、銘柄入替を1ヵ月に1度実施し、想定されるヘッジコストと運用コストの控除を前提に、円ヘッジ後のパフォーマンスとして算出しています。ただし、購入時手数料等のその他のコストは考慮していません。債券iシェアーズETFを投資対象として、円ヘッジ後の利回りを最大化することを目的にポートフォリオを構築しています。

# モデルポートフォリオ(2017年3月末時点)

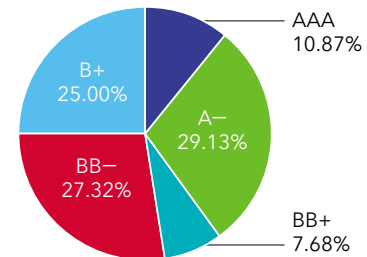
## モデルポートフォリオの特性値

最終利回り(①) (外貨建て、コスト控除前)	4.48%	
為替ヘッジコスト(②)	1.40%	
運用コスト	ETF運用管理費用(③)	0.38%
	信託報酬率(④)	0.405%
最終利回り(①-②-③-④) (円ヘッジ後、運用コスト控除後)	2.30%*1	
格付	BBB-	
デュレーション	3.62年	

\*1 小数点第三位を四捨五入した値です。

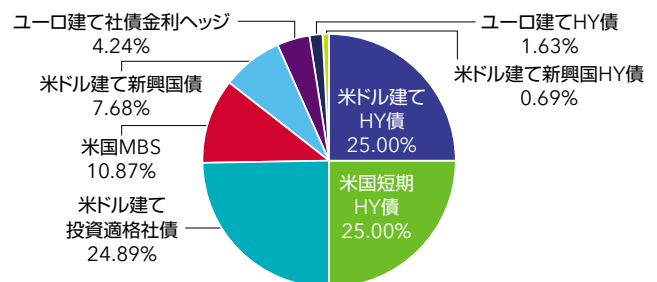
※各特性値はモデルポートフォリオの各組入資産の特性値と配分比率を基に加重平均した値。格付はファンドの格付ではなく実質的な組入債券の債務格付を指します。為替ヘッジコストはヘッジ対象通貨と円の短期金利差および対象通貨の需給を含む実勢値を基に算出。

## 格付別の配分比率



※ここでの格付は組み入れ債券ETF毎の平均債務格付にて表示しています。

## 各債券iシェアーズETFへの投資比率



上記は2017年3月末時点の市場環境に基づいて作成したモデルポートフォリオであり、実際のファンドとは異なります。また当ファンドの投資成果、利回りを保証・約束するものではありません。将来の利回り・投資成果を保証・約束するものではありません。なお、**利回り**と**投資家の総合的な損益は異なります**。最終利回り(円ヘッジ後、運用コスト控除後)は当ファンドの期待リターンを示すものではありません。また、当ファンドでは円ベースのインカム獲得を目指し実質的に信用リスクのある債券にも投資します。

# III

## 債券ETFの活用により運用コストを抑制

### ETF(上場投資信託)を通じて世界の債券に分散投資

#### ETF(イー・ティー・エフ)とは

英語のExchange Traded Fundsの頭文字をとったもので、日本語では「上場投資信託」のことです。特定の市場の「インデックス(指数)」等と同じ値動きをするように設計された投資信託で、世界各国の取引所に上場されており、取引時間中に売買できる金融商品です。

当ファンドでは、原則として債券を組み入れるETFに限定して投資を行います。



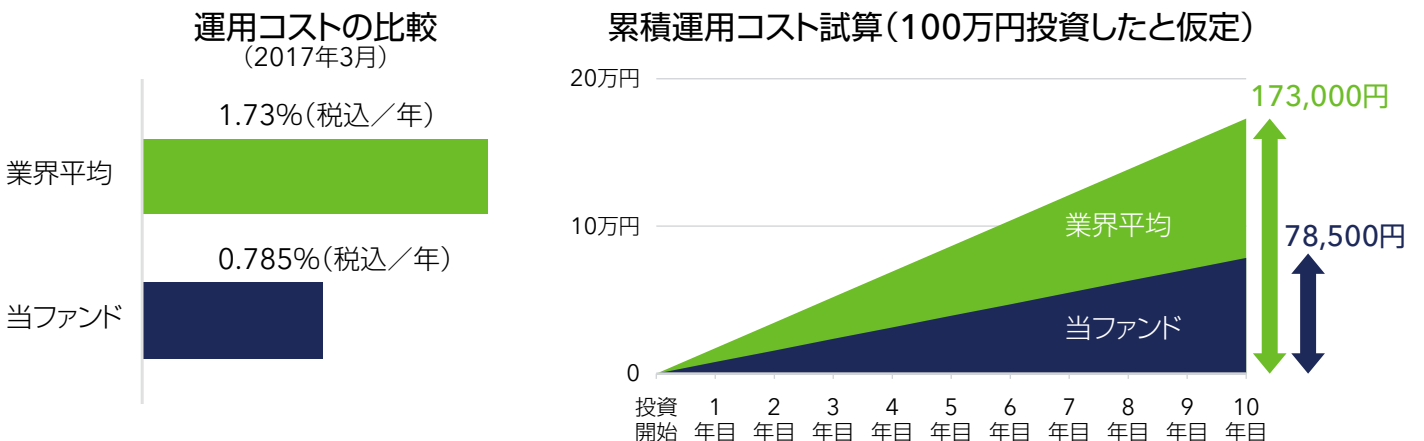
#### なぜ債券ETFを活用するのか?

<p><b>高い流動性</b></p> <p>取引所に上場されており株式と同様に売買可能</p>	<p><b>分散を低コストで実現</b></p> <p>個別企業・銘柄のリスクは小さめ、かつ低コスト</p>	<p><b>機動的な資産配分の変更が可能</b></p> <p>運用担当者の意図(資産配分の変更)を、より速く、反映可能</p>
--	--	--

上記はETFを通じて債券に投資を行う場合の一般的な特長を示したものであり、個別の債券ETFには当てはまらない場合もあります。また投資環境によっては、上記のような投資が行えない場合もあります。ETFへの投資に関するリスクについては、投資リスクのページをご覧ください。

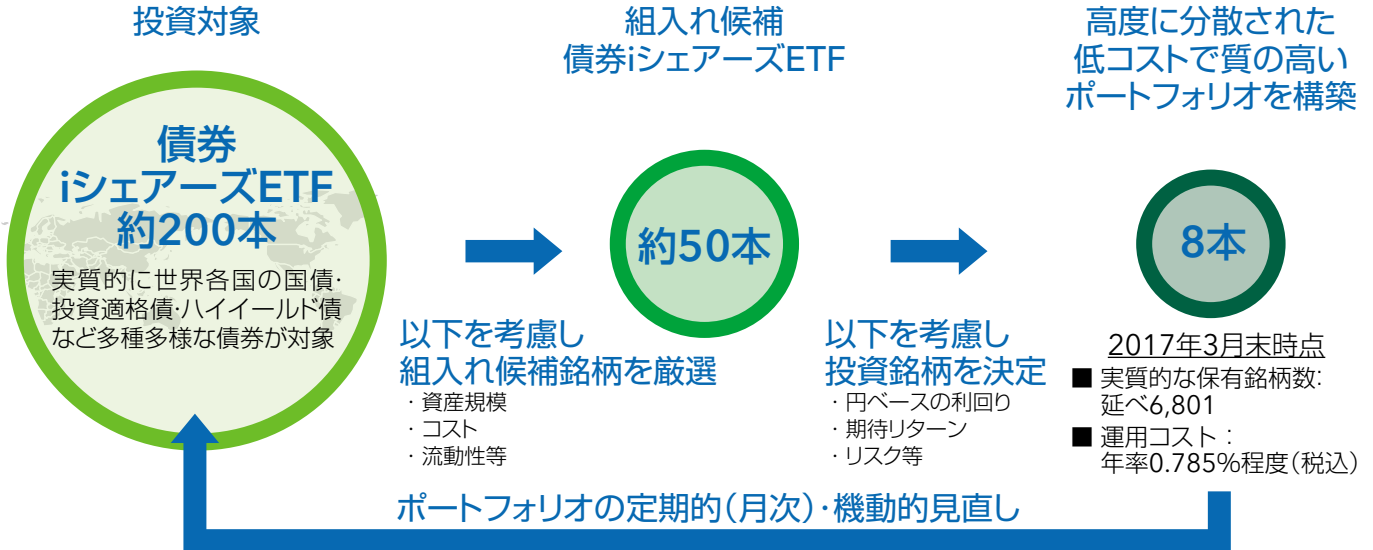
### 運用コストを抑制

- 運用コストの高低は、保有期間が長くなればなるほどパフォーマンスに大きく影響します。
- 当ファンドの運用コストは、国内で提供されている同カテゴリーの債券型ファンドの平均的な総運用コストに比べると2分の1以下の水準\*であり、長期投資におけるコスト抑制効果が期待できます。



\*業界平均はモーニングスターの国際債券・ハイイールド債のカテゴリーの税込実質信託報酬等1.73%を参照(2017年3月時点)。当ファンドは2017年3月時点のモデルポートフォリオを基に算出した平均の運用コスト。運用コストは投資する債券iシェアーズETFの変更によって変動します。また、概算値であり、実際とは異なります。右グラフは、当ファンドと業界平均(各税込)における10年間運用した場合の累積運用コストの試算です(投資金額である100万円の変動は考慮していません)。

## ポートフォリオの構築と見直し



2017年3月末時点

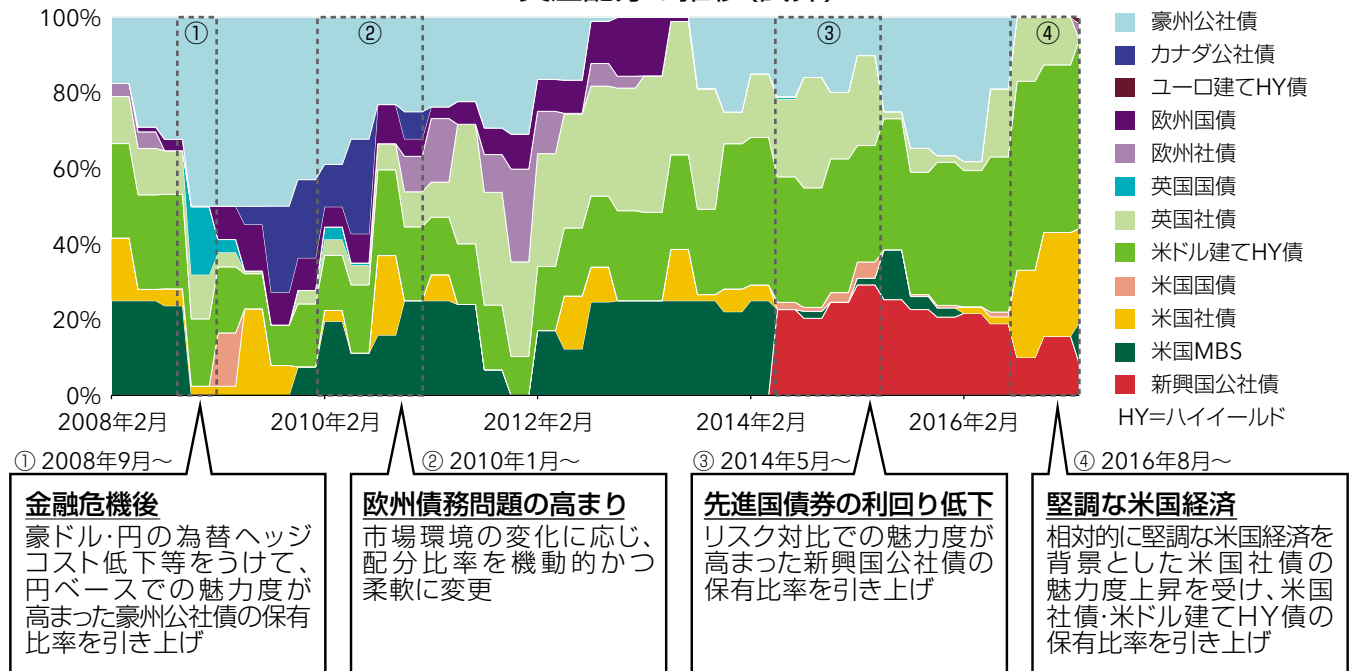
※上記はイメージ図です。投資環境によっては上記のような運用が行えない場合があります。

※ポートフォリオに組み入れる債券iシェアーズETFの本数、「実質的な保有銘柄数」および「運用コスト」は2017年3月末時点のモデルポートフォリオを基に算出した値であり、これらは投資する債券iシェアーズETFの銘柄・組入比率の変更によって変動します。運用コストは概算値であり、実際とは異なります。

## ポートフォリオの見直し

- 円ベースでのインカムを重視しつつ、運用環境に応じて、組入れる債券iシェアーズの銘柄・組入比率を機動的に変更します。
- 原則として、組入れETFと組入比率は毎月見直す(変更にかかる売買コストは可能な限り抑制)とともに、市況の急変時には随時対応します。

### 資産配分の推移(試算)



2008年2月～2017年3月(月次) 出所: ブラックロック 資産配分の推移(試算)は2008年2月に当ファンドと同様の手法で運用するファンドを設定したと仮定した場合の資産配分をシミュレーションしたものであり実際のファンドの資産配分とは異なります。

# ブラックロックについて

運用資産残高 ※1

第1位  
559兆円

高いリスク管理能力と豊富な運用商品ラインナップによって運用資産残高世界一の資産運用会社となっています

※1 2015年12月末時点。出所:Pensions & Investments' WORLD'S LARGEST MONEY MANAGERS' 米ドル建てのランキングを1米ドル=120.30円にて円換算。ランキング情報は2016年10月31日発行の紙面に掲載されています。ランキングに関する情報の転載には許可が必要です。Pensions & Investments. copyright.

※2 2016年12月末時点。米ドル建ての金額を1米ドル=116.635円にて円換算。

債券ETFシェア

第1位  
残高シェア 50%  
本数シェア 23%

債券型ETFにおいて、73兆円のうち37兆円(50%)※2、918本のうち208本(23%)がiシェアーズと圧倒的なシェアを誇ります

運用プロフェッショナル

1,800名超

世界中の1,800名超の運用プロフェッショナルが常時情報を共有し様々な資産、国・地域のスペシャリストの知見を相互に活かします

## 投資リスク

### 基準価額の変動要因

ファンドの基準価額は、組入れられている有価証券の値動きの他、為替変動による影響を受けます。これらの信託財産の運用により生じた損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。したがって、当ファンドは元金および元金からの収益の確保が保証されているものではなく、基準価額の下落により投資者は損失を被り、元金を割り込むことがあります。また、投資信託は預貯金と異なります。

当ファンドにかかる主なリスクは以下の通りです。

- **金利変動リスク** 世界の債券に実質的に投資します。債券の価格は、政治、経済、社会情勢等の影響により金利が上昇すれば下落し、金利が低下すれば上昇します。したがって、金利の変動が当ファンドの運用成果に影響を与えます。
- **信用リスク** 世界の債券に実質的に投資します。投資した債券の発行体の財務状況により、債務不履行が生じることがあります。債務不履行が生じた場合には、債券の価格が下落する等、当ファンドの運用成果に影響を与えます。また、債券の格付の変更により債券の価格が変動することがあり、それに伴い、当ファンドの運用成果に影響を与えます。
- **低格付債券への投資リスク** 信用格付が低い、または格付されていない債券にも実質的に投資します。これらの種類の債券はより高い利回りを提供する可能性があるものの、格付が比較的高い債券に比べてより投機的であり、価格がより大幅に変動したり、債券投資の元本回収や金利収入が不確実になるリスクも大きくなり、当ファンドの運用成果に影響を与えます。
- **カントリーリスク** 世界の債券に実質的に投資します。投資先の国の政治・経済事情、通貨・資本規制等の要因により、債券の価格が変動することがあり、それに伴い当ファンドの運用成果に影響を与えます。エマージング(新興国)市場の発行体が発行する債券に投資する場合、主として先進国市場に投資する場合に比べて、投資先の国の政治・経済事情、通貨・資本規制等の要因に伴い、より大幅な債券の価格変動または流動性の低下が考えられ、それに伴い当ファンドの運用成果に影響を与えます。
- **為替変動リスク** 円ベースでの収益の確保を目指し、原則として為替ヘッジを行います。投資対象資産および投資対象資産から生じる収益の全てを完全にヘッジすることはできません。また、ヘッジ対象通貨の金利が円金利より高い場合、ヘッジコストがかかります。
- **上場投資信託(ETF)への投資に関する留意点** 投資するETFを購入あるいは売却しようとする際に、市場の急変等により流動性が低下し、購入もしくは売却が困難または不可能等になることが考えられます。また、投資するETFにおいては、基準価額が対象指数の動きと高位に連動することを目指しますが、対象指数と一致する動きにならない場合があります。この場合には当ファンドの運用成果に影響を与えることがあります。また、特定のETFに集中的に投資することがあります。この場合に当該ETFが受ける価格変動リスクやETFの運営上のリスクの影響(当該ETFの償還や上場廃止等)をほぼ直接に受けることが想定されます。

### その他の留意点・収益分配金に関する留意点

- 当ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリングオフ)の適用はありません。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
- 分配金は、計算期間中に発生した運用収益(経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行った場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。したがって、分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
- 投資者の個別元本の状況によっては、分配金の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。個別元本とは、追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本のことです。投資者毎に異なります。

### リスクの管理体制

委託会社ではリスク管理を重視しており、独自開発のシステムを用いてリスク管理を行っております。具体的には、運用担当部門とは異なる部門においてファンドの投資リスクの計測・分析、投資制限のモニタリングなどを行うことにより、ファンドの投資リスクが運用方針に合致していることを確認し、その結果を運用担当部門にフィードバックするほか、社内の関係者で共有しております。また、委託会社の業務に関するリスクについて社内規程を定めて管理を行っております。

### 【当資料で使用したBloomberg Barclaysのインデックス】

米国ハイイールド債、米国社債、米国MBSは、ブルームバーグ・バークレイズ米国総合インデックスのサブインデックス  
英国社債は、ブルームバーグ・バークレイズ・スターリング総合インデックスのサブインデックス  
欧州ハイイールド債は、ブルームバーグ・バークレイズ・汎ヨーロッパハイイールドインデックス  
新興国ハイイールド債、新興国社債、新興国国債は、ブルームバーグ・バークレイズ新興国総合インデックスのサブインデックス

### 【当資料で使用したデータの著作権について】

ブルームバーグは、ブルームバーグ・ファイナンス・エルピーの商標およびサービスマークです。バークレイズは、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ビーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エルピーおよびその関係会社(以下「ブルームバーグ」と総称します。)またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

※お申込みの際には投資信託説明書(交付目論見書)をご確認ください。

三菱東京UFJ銀行でお申込みの場合

## お申込みメモ

### 購入の申込期間

- ①当初申込期間：平成29年5月15日から平成29年6月1日まで  
②継続申込期間：平成29年6月2日から平成30年3月24日まで  
※期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。

### 購入単位

分配金再投資コース(累積投資コース)：1万円以上1円単位  
購入単位には購入時手数料(税込)が含まれます。  
再投資される分配金については1円単位とします。  
投資信託口座を通じたお申込みの場合は上記以外の購入単位でのお取扱いもございます。  
くわしくは、三菱東京UFJ銀行のホームページをご覧ください。

### 購入価額

- ①当初申込期間：1口当たり1円  
②継続申込期間：購入受付日の翌営業日の基準価額

### 換金単位

投資信託口座：1円以上1円単位、または1口以上1口単位、または全部。  
金融商品仲介口座：1口以上1口単位、または全部。

### 換金価額

換金申込受付日の翌営業日の基準価額

### 換金代金

原則として、換金申込受付日から起算して6営業日目にお支払します。

### 申込締切時間

原則として、午後3時までに受け付けたものを当日の申込分とします。

### 購入・換金申込受付不可日

継続申込期間中は、以下のいずれかに該当する場合は、販売会社の営業日であっても購入・換金は受け付けません。  
ニューヨークの銀行の休業日、ニューヨーク証券取引所の休場日、ロンドンの銀行の休業日、ロンドン証券取引所の休場日

### 換金制限

大口の換金の申込には制限を設ける場合があります。詳細は販売会社にお問合せください。

### 購入・換金申込受付の中止および取消し

金融商品取引所等における取引の停止、外国為替取引の停止、決済機能の停止その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金の受付を中止・取消しする場合があります。

### 信託期間

平成39年5月28日まで(設定日：平成29年6月2日)

### 決算日

6月15日および12月15日(ただし休業日の場合は翌営業日)  
※初回決算日は平成29年12月15日とします。

### 課税関係

課税上は株式投資信託として取扱われます。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。配当控除または益金不算入制度の適用はありません。

## ファンドの費用

### 投資者が直接的に負担する費用

#### 購入時手数料

購入代金に応じて、以下に定める手数料率を購入金額に乗じて得た額とします。購入時手数料(税込)は、購入代金から差し引かれます。

購入代金*	手数料率
1億円未満	1.08%(税抜1.0%)
1億円以上	ありません。

\*購入代金=購入金額(購入価額(1口当たり)×購入口数)+購入時手数料(税込)  
※インターネット取引でご購入の場合は上記手数料率から10%優遇。

#### 信託財産留保額

ありません。

### お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

#### 運用管理費用(信託報酬)

ファンドの実質的な運用管理費用は、以下(A)と(B)の合計となります。なお、「(B)投資する上場投資信託証券の運用管理費用」は、投資する上場投資信託証券およびその投資割合等により変動します。そのため、実質的な運用管理費用は、事前に料率、合計額等を表示する事はできません。

#### (A)当ファンドの信託報酬

ファンドの純資産総額に対して年率0.405%(税抜0.375%)の率を乗じて得た額とします。

#### (B)投資する上場投資信託証券の運用管理費用

マザーファンドにおいて投資する上場投資信託証券においても運用管理費用が徴収されます。ただし、当該運用管理費用については、事前に料率、合計額等を表示する事はできません。

(ご参考)

平成29年3月末現在で想定している当ファンドの投資対象およびその投資割合に基づき試算した料率は年率0.38%程度です。

※上記は、平成29年3月末現在の試算値であり、変更になる事があります。また、運用開始後は、運用状況により変動します。

#### その他の費用・手数料

目論見書の作成費用、運用報告書の作成費用、ファンドの財務諸表監査に関する費用等の諸費用について、ファンドの純資産総額の年率0.108%(税抜0.10%)を上限として、毎計算期末または信託終了のときファンドから支払うことができます。

ファンドの諸経費、外貨建資産の保管費用等について、その都度、ファンドから支払われます。

また、マザーファンドが投資する上場投資信託証券に係る保管報酬および事務処理に要する諸費用等が上場投資信託証券より支払われます。

※その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※当該手数料および費用等の合計額については、ファンドの保有期間等に応じて異なりますので表示することができません。

※購入時手数料、運用管理費用(信託報酬)およびその他の費用・手数料は、消費税および地方消費税に相当する金額を含みます。

## ファンドの主な関係法人

委託会社：ブラックロック・ジャパン株式会社  
信託財産の運用の指図等を行います。

### ファンドに関するお問合せ先

電話番号：03-6703-4300

(受付時間：営業日の9:00~17:00)

ホームページアドレス：www.blackrock.com/jp/

受託会社：三井住友信託銀行株式会社  
信託財産の管理業務等を行います。

販売会社：[投資信託口座を通じたお取扱いの場合]

株式会社三菱東京UFJ銀行

[金融商品仲介口座を通じたお取扱いの場合]

三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社

(金融商品仲介業務等を行う登録金融機関)株式会社三菱東京UFJ銀行

### ご留意事項等

●本資料は、当ファンドの特色や投資対象、リスク要因および留意点についてご理解を深めたいいただく目的でブラックロック・ジャパン株式会社が作成した商品の販売用資料です。●当ファンドの基準価額は、当ファンドに組入れられている有価証券等の値動きの他、為替変動による影響を受けますが、これらの運用による損益はすべて投資家の皆様に帰属いたします。元金が保証されているものではありません。●当ファンドは、預貯金や保険契約とは異なり、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また販売会社が登録金融機関の場合、投資者保護基金の対象にはなりません。●当ファンドを取得される場合には、投資信託説明書(交付目論見書)をお読みいただきますので、必ず内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。●本資料はブラックロック・ジャパン株式会社が信頼できると判断した資料・データ等により作成いたしました。その正確性および完全性について保証するものではありません。また使用されるデータ等は過去のものであり、今後の成果を保証・約束するものではありません。●本資料の内容は作成日時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。